

軍極秘

信令寫

昭和十八年十二月二十五日

發給空襲部隊指揮官

宛 空襲部隊
通報 南東方面艦隊

- 第八根據地隊
- 第五空襲部隊
- 第六空襲部隊
- 第七潜水隊
- 剛 部隊

各司令部

襲撃部隊信令作第八號
機密南東方面部隊襲撃部隊命令作第三一號

依ル輸送計画ヲ左ノ通一部変更ス

一 二十五日第三次輸送指揮官ヲ第二十二駆逐隊司令

ニ 兵ヲ第二十二駆逐隊(文月水無月)ニ改ム

三 二十六日第四次輸送兵ヲ中畢月ヲ疎ク

四 二十八日第五次輸送指揮官ヲ第二十二駆逐隊司令

ニ 兵ヲ第二十二駆逐隊(文月水無月)ニ改ム

改ム

四 二十九日第六次輸送兵ヲ中畢月ヲ疎ク

終

<p>十一月二十六日 〇九五八 889 参謀</p>	<p>十一月二十三日 〇九二三 A 35d</p>	<p>十一月二十一日 〇九二〇 889 参謀</p>	<p>十一月二十六日 〇五二〇 松風 艦長</p>	<p>十一月二十五日 二二三〇 松風 艦長</p>
<p>十一月二十六日 一三五〇 丁三基地 指揮官</p>	<p>SYB P 27B A 889 A 77B</p>	<p>十二月三十一日 T2 指揮官 889 35d</p>	<p>十一月二十六日 〇八〇五 A 35d P 27B</p>	<p>十一月二十五日 二三四〇 マ (ガ) ア (ブ)</p>
<p>機密第 二六〇九五八番電 十一月二十六日當地駆逐艦輸送実施セシメラル 使用艦艇連 曙 搭載人員物件等</p>	<p>SYB 指令 第九號 本日陸曙 作戰輸送揚陸地ヲ 09Wニ変更 シ揚陸時刻ヲ 二二〇トス</p>	<p>機密第 二六〇九一八番電 本三十一日當地駆逐艦輸送取止ム</p>	<p>機密第 二六〇五五〇番電 〇四四五揚陸終了精交物件松風 海軍ノ乙 陸軍ノ了 夕風 海軍ノ了 陸軍全部</p>	<p>機密第 二五二二三番電 〇二〇〇 泊地進入ノ了定</p>
<p>recd</p>	<p>信 子</p>	<p>recd</p>	<p>recd</p>	<p>recd</p>

1941

<p>土月二十七日 A 3,SD</p>	<p>土月二十七日 一甲 二 三 A 3,SD</p>	<p>土月二十七日 二 四 A 3,SD</p>	
<p>土月二十七日 SYB P 2TH SAB 6AB 1399g 8B9 T26 9mm</p>	<p>土月二十七日 SYB P 2TH SAB 6AB 8B9</p>	<p>土月二十七日 SYB P 2TH</p>	<p>土月二十七日 3,SD TH 司令</p>
<p>機務部三。七四。各巻 龍巻部信令作高止 本二八日、CGM作戦輸送ヲ取止ム</p>	<p>SYB 信令作序十一號 一、明二十八日作戦輸送 揚格時刻ヲCGM一九三〇 二、文月ハ小發ニ度ヲ格載 CGMニ輸送スベシ</p>	<p>SYB 信令作序一〇號 松風、夕風ハ所定人員物件外小發各ニ度ヲ格載 明日 CGMニ輸送スベシ</p>	<p>七五艦(陸軍)揚格時刻ニニ。其、他、前、回、通 二、揚格用舟艇準備、能否 至急知ラサレ度</p>
<p>1225</p>		<p>子 信</p>	

107

信令作寫

昭和十八年十二月二十八日 一〇四五

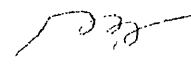
發 第六空襲部隊指揮官

宛 伊空襲隊

通報 P 1539 6AB P 839 P 330 松風 夕風 SAB

6AB 信令作第三八〇號

本日午石 伊空襲隊 指揮官ハ 指揮官所定ニ依リ OGW 作戰輸送隊
上空警戒ヲ 實施スツシ

十二月 九日	$\frac{A}{6AB}$	十二月 九日 $\frac{A}{3,50}$
SYB $\frac{P}{FB9}$ $\frac{A}{6AB}$	十二月 八日 戦機 着艦	十二月 九日 SYB $\frac{P}{FB9}$ 戦機 着艦
SYB 信令作第ニ号	十二月 八日 戦機 着艦 一 索敵 目星 艦爆 一機 〇九三〇 〇九 索敵線 二 索敵 タメ 奔進 セシモ 天候 不良 急 進 距離 二五〇 運ニテ 引込 ス 敵ヲ 見ズ 三 OGW 作戦 輸送 隊上 空 敵機 (一四三〇 一六三〇) 零 戦機 ヲ以テ 實施 異状 ナシ 三 國洋丸 上空 敵機 (一一〇〇 一六三〇) 零 戦延 十二機 ヲ以テ 各員 施 異状 ナシ	十二月 九日 SYB 信令作第ニ号 三十一日 OGW 作戦 輸送 使用 秀カ 松風 永 蒼 月 ヲ 松風 早月ニ 改ム 機密 第 三〇七三七 番 電 6AB 戦機 報 第 三三七 號 (十二月 二十九日)
信		信 号

9941

3526

剛部隊

本三十日

OGTW 自揚揚時刻ヲニニ〇〇ニ改ム

子

信令^作之鳥

昭和十八年 十一月三十日

〇七〇〇

発

第六空襲部隊指揮官

宛 伊空襲隊

通報 品 1764
A 5AB 6AB A 8B9 A 3526
連

6AB 信令作第ニ八四號

伊空襲隊指揮官ハ本日午右指揮官所定ニ依リ
OGTW 作戦輸送隊ノ上空警戒ヲ實施スベシ

1768

109

<p>七月十五日 〇六九四 A FAB</p>	<p>同上 〇七一八 波空襲隊</p>	<p>機密第三一〇六五四番電 FAB 指令作第五四號 波空襲隊指揮官八本 日午後指揮官所定ニ 依リ 〇〇作戦輸送隊ノ上空往來ヲ實施スベシ</p>
<p>1026</p>		

計		皇月	水魚月	輸送艦		
				陸軍	海軍	陸軍
四七三 名	四七一	二二九	二四二	陸軍	人員	前送
	二	/	二	海軍	負物件	
三三三 名	三一八	二〇五	一〇五	陸軍	負物件	後送
	二	/	二	海軍	人員	
三八八 名	三六六	五六	/	陸軍	人員	後送
	二	/	二	海軍	負物件	
/	/	/	/	陸軍	負物件	後送
/	/	/	/	海軍	人員	
				記 事 猶殘陸軍七艦海軍一艦計八艦		

第四戰果經二被雲
 一輸送人員物件
 前送
 後送

計	三		二		一		次回	
	水 無 月	文 月	水 無 月	松 風	夕 風	文 月	輸 送 艦	
二九 七名	二九 二	四九	四六	四七	五一	五〇	陸軍	人 員
	五					五	海軍	
二二〇 名	六七 五	三五 五	三五	三七	三七 五	三五	陸軍	物 件
	六五					二五	海軍	
二五三 名	二四 九	五〇		四六	七〇	三三	陸軍	人 員
	四			一		三	海軍	
七 名	五二 五		〇二 五	二		三	陸軍	物 件
	一五					一五	海軍	
遺骨 二						遺骨 二	其他	送
								記 事

四ノグロベ

1961

五		四		三		二		一	次回	
年	文	夕	松	晴		夕	松	太	輸送艦	
月	月	風	風		連	風	風	刀		
五〇	五八	四二	五〇	四九	五一	九五	六五		陸軍	前
		一五	一五						海軍	人員
三八	小芥二 三六	二一五	小芥二 二四	三六四	三五二	二	八		陸軍	物件
		一四	一〇				五		海軍	送
	五	一六		三三					陸軍	後
		二〇	二一						海軍	人員
		一							陸軍	物件
									海軍	物件
									其他	送
										記事
						物件三八並積残	物件五並積残	輸送不成功		

(ハ) ヲガブ

0445

計	七		六	
	牟月	松風	曙	連
六三	六〇九	四〇	五二	六二
五右	二六	〇	三	一
三八〇	三六	三六	二三	三五
五右	六五	五	八五	六五
一一五	七〇	一		二〇
右	四三	二		
一	一			
	報通班員八 原住氏二 捕虜二			報通班員八 住氏二捕虜二

二 輸送人員物件總計

前送

物件	人員	陸軍	海軍
陸軍	陸軍	一三七二名	三三名
海軍	海軍	五	五六四名
		六九名	

計 一四〇五名
計 六三三名

二被害

十二月二十三日 水島月

命中爆弾ニ依リニ番新管橋及右舷中部
上甲板小破 舵銀破損
陸兵ニ右軽傷

第五功績

作戦輸送ニ從事セル各隊艦ガ毎回執拗ナル敵飛行機、爆撃ヲ冒シ輸送ヲ強行目的ヲ達成セルハ近

後送

人員	物件
陸軍 三五五名	陸軍 六隻
海軍 四九名	海軍 一五隻
計 四〇四名	計 七五隻

第六參考

一戰訓所見

キ將來ノ南東方面作戰ニ寄與スル所大ナルモノアルベク
其功績顯著ナリト認ム

（一）今期作戰輸送ノ實績ノ示ス通輸送隊ニ協力スベ
キ航空兵力警戒艦艇ノ充分ナラザル現状ニ於テ
ハ敵ノ來攻ト共ニ駆逐艦輸送可能範圍ノ縮少
ハ止ムラ得ガル如ニレテニエリハリテニ各地ノ輸送確
保ノ為ニ道路網ノ完成ニ依ル陸上交通ノ開
拓カ喫緊ノ事項ナリ
又敵情ニ應ジ機宜所望ノ也ニ揚揚點ヲ變更シ
得ル様速ニ沿岸ノ寫真測量ヲ完遂スル要アリ

ト認ム

(四) 今朝ノ輸送作戦中爆撃被害少クリシハ裝撃部隊各艦カ假稱電波探知器ノ利用ニ概テ慣熟シ被爆前炮行運動機銃射撃等機先ヲ制シ得ルニ到レルニ由ル處大ナリト認ム

擬碼装置ノ(假稱反射体)効果ハ未ダ確認スルニ到ラサルモ爆撃直前投入シテ敵電測爆撃ヲ混乱セシムル効果アル様ニ認メラレ尚研究中ナリ

(三) 今朝ノ輸送作戦中輸送隊ハ殆ド毎回敵機ノ襲撃攻撃ヲ受テ如何ニ揚格時間ヲ変更スルモ効果少クリシ爲暗號ヲ盗讀サレラサルヤノ機裁ヲ入ラセテクニ到レルモ三十日ノ輸送隊ノ行動ヲ打電セル敵信

五二二

同 十六日	同 十九日	同 二十日	同 二十一日	立 月 二十日	月 日
	○		○		文 日
	○	25% 二 13% 五		○	水 無 月
				○	翠 月
	25% ○ 13% 一	25% ○ 13% 五			松 風
	25% ○		○		夕 風
			○		太 刀 風
○					連
○					晴

今期輸送作戦中彈藥負荷消耗額

傍受に依りコト判明セルヲ以テ三土日ノ輸送隊ハ同岬ノ視界外ヲ進出セシメタリ隠密見張ノ使用ハ敵ノ常用ニ得意トスル處ナルヲ以テ之ガ侵入妨止ニ掃蕩ニハ特ニ留意ノ要アリト認ム

0221

計	月	日	水	無	月	年	月
	十二月	三十一日	三〇	一	三	一八	三
							三 八 四 五

今期輸送作戦中燃料消費額
 燃料消費額

計	同 年 日	同 年 十日	同 年 半 日	同 年 終 日
二十五耗機銃彈藥包六五四發	25% 魚 18% 三〇		25% 魚 13% 三〇	
二十五耗機銃彈藥包六五四發	25% 三〇 13% 三〇			
二十五耗機銃彈藥包六五四發	25% 七五 13% 七五	25% 七五 13% 七五		〇
二十五耗機銃彈藥包六五四發	25% 三〇 13% 三〇	〇		25% 三〇 13% 三〇
二十五耗機銃彈藥包六五四發	25% 三六			25% 三六
二十五耗機銃彈藥包六五四發	〇			
二十五耗機銃彈藥包六五四發	〇		〇	
二十五耗機銃彈藥包六五四發	〇		〇	

三	二	一	田次
			文
			月
			水
			無
			月
			筆
			月
	一三四		松
			風
	一三七		夕
			風
		八〇	太
			刀
			風
一七〇			連
一五五			曙

(一) ヲグブツ

計	三	二	一	田次
				文
	二九三	一四八	一四七	月
				水
	三三二	一六一	一七一	無
				月
	一八四	一八四		松
				風
	一三一		一三一	夕
				風

(四) ヲグロベ

九
四
〇
延

0227

燃料費額總計 三一〇九元

	計	七	六	五	四
一七八五元	一五五			一五五	
	二七九	一三四		一四五	
	三八三	一四三			一〇六
	二四一				一〇四
	入				
	三三〇		一六〇		
	三〇七		一六二		

別紙第一

機密南東方面部隊襲撃部隊命令作第二九號

昭和十八年五月二十日 作戰地

南東方面部隊襲撃部隊指揮官 中川 浩

襲撃部隊命令

機密南東方面部隊命令作第五一號 謀 〇GN 〇GM 〇GT 方面

作戰輸送ハ左ニ依リ之ヲ實施ス

116

8221

OGN 又 OGM	揚陸地	一揚陸地	揚陸地	OGN OGM
五月 二十日	回次	回次	回次	〇GN
司令	期日	期日	期日	〇GM
二十二日	指揮官	指揮官	指揮官	〇GT
(水無月 旱月)	兵力	兵力	兵力	方面
海軍 四名	輸送人員	輸送人員	輸送人員	
海軍 三名	陸軍 四八名	陸軍 三四名	陸軍 三四名	
道員	輸送物件	輸送物件	輸送物件	
三名	後送人員	後送人員	後送人員	
OGM 難場命令 變更	入看時刻	入看時刻	入看時刻	
	記事	記事	記事	

輸送人員物件等

0 4 M

五	四	三	二	一
全 二十九日	全 二十八日	全 二十七日	全 二十三日	全 二十一日
司令 二十二配	巡艦長 松風配	司令 二十二配	司令 二十二配	巡艦長 文月配
(水無月) 文月 二十二配	夕風 松風	(水無月) 文月 二十二配	(水無月) 松風 二十二配	夕風 文月
陸軍 一三名	陸軍 八名	陸軍 一三名	陸軍 一〇名	陸軍 一〇名 海軍 五名
陸軍 一二五配	陸軍 七八配	陸軍 一二五配	陸軍 七五配	陸軍 七二五配 海軍 二五配
	通首			
	追テ 定ム		九三〇	九三〇
			入海時刻ハ 敵情ニ依リ 変更ニ付 アルベシ	

0841

117

二 要領

- ① RRニ於ケル物件、搭載ハ前日一四。開始人員ハ当日。セ。迄ニ乗艦スルモノトス
- ② 揚陸地ニ於ケル揚格作業ハ一回揚格ニテ實施スルヲ五前トス

三 航空部隊、協力

① 晝間、戦機ニ依リ上陸警戒

時	0819
	六
後令	三日
	花岡 肥
	夕 同
	陸軍 八名
	陸軍 七七名

1841

四、石外各指揮官所定

④ OGN 作戦輸送ニ対シテハ石外日及頃陸上機ヲ以テスル
ダンピール海峡附近、捜索偵察及搭搭時ヨ中心トスル
九五八空水偵、哨戒

(終)

別紙第三

機密南東方面部隊襲撃部隊命令作第三〇號

昭和十八年十二月二十一日作戦地

南東方面部隊襲撃部隊指揮官 中川 浩

襲撃部隊命令

機密南東方面部隊命令作第五一號ニ據ル OGW 方面作戦輸送ハ

左ニ依リ之ヲ實施ス

一回次 期日 兵力 輸送人員 物件等

回次	期日	兵力	輸送人員	輸送物件	後進合物件	入石時刻	記事
一	十二月二十一日	大刀風	六五名	陸軍一六〇 陸軍一〇〇 海軍二〇 此		二〇〇〇	
二	十二月二十七日	大刀風	九〇名	陸軍二三五 陸軍一〇〇 海軍一〇 此	通直		
三	十二月二十九日	大刀風	九〇名	陸軍一〇〇 陸軍一〇〇 海軍一〇 此			後令

二 要領

機密南東方面部隊襲撃部隊命令作第ニ几弾ニ同ジ

三 外々同艦所定

(終)

別紙第三



後送南東方面部隊襲撃部隊命令作第三一號

昭和十八年十二月二十四日作戦地

南東方面部隊襲撃部隊指揮官

中川 浩

龍衣撃手部隊命令

襲撃部隊命令作第三一號第三項及同第三一號第一項中
二月二十五日以後、OGM及OGW作戦輸送計畫ヲ左通
変更ス

OGM	揚陸地	揚陸地	揚陸地	揚陸地	揚陸地	揚陸地	揚陸地	揚陸地
三	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数
三月	期日	三月	期日	三月	期日	三月	期日	三月
三月	指揮官	三月	指揮官	三月	指揮官	三月	指揮官	三月
水無月	兵力	水無月	兵力	水無月	兵力	水無月	兵力	水無月
一〇〇名	輸送員	陸軍	輸送員	陸軍	輸送員	陸軍	輸送員	陸軍
七五噸	輸送荷件	陸軍	輸送荷件	陸軍	輸送荷件	陸軍	輸送荷件	陸軍
約〇名	後送員	約〇名	後送員	約〇名	後送員	約〇名	後送員	約〇名
二三〇	入知時刻	二三〇	入知時刻	二三〇	入知時刻	二三〇	入知時刻	二三〇
	記事		記事		記事		記事	

O G W				O G M			
四	三	二		六	五	四	
三全 三下	三全 三合	三全 三合	三全 三合	三全 三合	三全 三合	三全 三合	三全 三合
合石	合石	運 温 長	松 風 記	温 長 連 馳 迹	文 月 記 運 温 長	温 長 連 馳 迹	温 長 連 馳 迹
合石	合石	夕 風	松 風	星 月 曙 連	水 無 月 文 月	星 月 曙 連	星 月 曙 連
追 手 足	追 手 足	陸 軍 九 名	陸 軍 六 五 名	一 五 名 陸 軍	一 〇 名 陸 軍	一 五 名 陸 軍	一 五 名 陸 軍
ム	ム	陸 軍 一 〇 名	陸 軍 三 五 名	一 二 五 名 陸 軍	七 五 名 陸 軍	一 二 五 名 陸 軍	一 二 五 名 陸 軍
	道 宣			約 七 名	約 一 〇 名	約 五 名	約 五 名
後 令	二 三 〇 〇	二 三 〇 〇			後 令	二 三 〇 〇	
					大 登 一 〇 名		

(終)

別紙第四

機南東方面部隊襲撃部隊命令作第三四號

昭和十八年十一月二十八日作戦也

南東方面部隊襲撃部隊指揮官 中川 浩

120.

襲撃部隊命令
後、OGM及OGW作戦輸送計画ヲ反ノ通變更ス
襲撃部隊命令
第三號
昭和十八年十一月二十八日

1786

OGW		揚陸地
六	五	回次
三十日	二十九日	期日
艦長曙	逐艦長畢月	指揮官兵
一〇〇名	一〇〇名	輸送人員
陸軍一七五	陸軍六〇	輸送物件
通	宣	後送人員
二〇〇		入泊時刻
		記事

1941

OGM	OGW
情况依りOGW輸送隊ノ揚陸地ヲOGMニ変更實施ス	七
	十一月 一日
	海軍及 水無月
	松 風
	海軍ニ名 陸軍入員
	海軍ニ名 陸軍五七名

巻

軍秘

第三水雷戦隊機密第一二號

昭和十九年一月一日

第三水雷戦隊司令部

「ニエーフリテン」島各地作戦緊急
輸送戦闘概報(自十一月十一日
至一月一日)

一経過

機密南東方面部隊命令作第五十一(號)ニ據ルニエーフリテン島各
地作戦緊急輸送ハ第三ニハ駆逐隊(文月水無月(早月)松風夕
風太刀風連曙ヲ以テ實施、イボキ作戦輸送ハ豫定通完
了、カニビル作戦輸送ハ必要ナル警戒兵力特ニ航空部隊ハ
協力得ラレザル為取止ノカ、作戦輸送ハ三回迄實施セルモ

19.1.27

<p>十二月 三日</p>	<p>月 日</p>
<p>司令</p>	<p>指揮官</p>
<p>水無月 年月</p>	<p>輸送艦</p>
<p>記 事</p> <p>一〇二〇ラバウルに發一九三三ヨリ一九四〇迄敵宵 戒機、電探探知ニヨリハボキ星周直後東方 約ニヤ米ニ吊先投彈及爆彈々着有ヲ認メタ ルモ揚格ヲ強行(揚格時間ニ五分)歸途ニ ヨリ以後ニ三四三頃迄敵機融接(電探探知)ヲ受 テシモ異常ナクニ三〇五五〇ラバウルに返着</p>	

ハボキ輸送

西線ルニ敵大部隊來攻シ航空部隊ノ協力ナシテハ甚危険ノ
情勢トナレルヲ以テ後半ハ專ラカアゴ作戰輸送ニ全カヲ傾注シ概
不豫定輸送ヲ完遂セリ
詳細左ノ通

輸送

四 次 月 日	一 三 月 日	指 揮 官	文 月 船 長	輸 送 船	文 月 船	記 事	一三三〇ラバウル發ニ〇四〇カビ着直前敵消滅 機近接セル發見サルニトナリ揚格成功 「スプール」為揚格時間一時間三十分 二三三〇ラバウル船長
二 三 月 日	松 風 船 長	水 無 月	兵ニ名輕傷ス一九四五一及又輕北才避退輸 晦ニ努メシニカビ向ヒニ五一星自當時カビハ 空襲警報中ナリシ後作業開始予定ヨリ 三時間半避レニ三五〇揚格終了揚格時				

1641

一	興次			
十月 二十日	月			
大カ風 駆逐艦 長	指揮官			
大カ風	輸送艦			
<p>記 事</p> <p>一三(五)リバウルル発九一九〇以後ニミシヨ頭迄 敵哨戒機三機以上ノ電波触接ヲ受ケ七四 揚格ヲ断念ニ十三〇四三〇リバウルル發着</p>				

い
か
ら
の
輸
送

三				
十月 二十四日	月			
三三 司令	艦			
三三 文月 永無月	艦			
<p>向四方司令カバウルル發三十四日七三〇リバウルル發着</p> <p>一四三〇リバウルル發一九三八以後敵機ノ電探ヲ 探知〇〇ニシテ遠觸接ヲ受ケシモ假梅互射体 有効ナリシク爆撃ヲ受クルコトモナリニハ五三ガ ニ有揚格時由ニ〇分順当ニ経過シニ三ニ〇發 二十五日〇六ニ〇リバウルル發着</p>				

四	三	二
十月 十八日	十月 十八日	十月 十八日
松風 駆逐艦 長	連駆 艦 長	松風 駆逐艦 長
松風 夕風	連 曙	松風 夕風
一三〇〇リバルの発一三〇以後敵機接触り 感シ一九四大型機爆撃ヲ受ケタル被撃 ナリニ〇三又加カシ著敵機感アリシヲ揚格	十四〇リバルの発一三〇リバルの揚格時間 十五分敵機幼少ヲ揚格成功ナリ〇三又 リバルの取着	一五三〇リバルの発一三〇以後敵機接触 接ヲ受ケ擬艦装置ヲ使用又艀艀晦 後〇四ニ又加カシ到着セルニ知時刻著シ連 延カ為毎艇來着セルト少ノ物件約五分 ニ積残ヲ生ズ〇四四五加カシ發ナリ〇三 〇リバルの取着

CGAT

七	六	五	
辛酉 十月	辛酉 十月	辛酉 十月	
船取松 長逐風	連船 逐長	文月 逐長	
松風 辛酉	連船 逐長	文月 逐長	
<p>一三〇〇ラバウル發敵隠密見張存在疑 アルランベルト岬ヨリ三十哩圏外ヲ進出セルハ 五四以後敵機三機以上、接触ヲ探知シ、辛酉 月爆撃ヲ受ケタル被害ナクニシ、又、辛酉</p>	<p>一四一五ヲバウル發敵隠密見張存在疑 辛酉月爆撃ヲ受ケタル被害ナクニシ、又、辛酉</p>	<p>被^機害ナクニシ、又、辛酉月爆撃ヲ受ケタル被害ナクニシ、又、辛酉 機ハ為地周回ヲ旋回中ナリ、又揚格成功(揚 格一分)被^機害ナクニシ、又、辛酉月爆撃ヲ受ケタル被害ナクニシ、又、辛酉</p>	<p>強行(揚格時間十分)二十九日、又三〇日、 被^機害ナクニシ、又、辛酉月爆撃ヲ受ケタル被害ナクニシ、又、辛酉</p>

計	白米月		水無月		輸送船		陸軍	海軍	陸軍	海軍	陸軍	海軍	陸軍	海軍	積残
	陸軍	海軍	陸軍	海軍	陸軍	海軍									
四七三	四七八	二二九	二四二	二	陸軍	海軍	陸軍	海軍	陸軍	海軍	陸軍	海軍	陸軍	海軍	
三三三	三一	二五	二五	二	陸軍	海軍	陸軍	海軍	陸軍	海軍	陸軍	海軍	陸軍	海軍	
三八	三六	三六	三六	二	陸軍	海軍	陸軍	海軍	陸軍	海軍	陸軍	海軍	陸軍	海軍	
					陸軍	海軍	陸軍	海軍	陸軍	海軍	陸軍	海軍	陸軍	海軍	

二戰果並被奪
 の輸送人員物件
 のイボキ

没ヲ待テニニ一九切カニ並目揚搭成功揚搭
 時向テ七分
 一月一日ヨリ八日ハ山崎着

6641

計	三		二		一		回次輸送	
	水無月	文月	水無月	松風	夕風	文月	陸軍	海軍
三九七	二九二	四九	四六	四七	五一	五〇	陸軍	海軍
	五	/	/	/	/	五	陸軍	海軍
二二〇	三七五	三五五	三三	三七	三七五	三五	陸軍	海軍
	二五	/	/	/	/	二五	陸軍	海軍
二五三	二四九	五〇	/	四六	七〇	三三	陸軍	海軍
	四	/	/	一	/	三	陸軍	海軍
六七五	五三五	/	〇三五	二	/	三	陸軍	海軍
	一五	/	/	/	/	一五	陸軍	海軍
遺骨	/	/	/	/	/	遺骨	其他	記事

三九〇

前

送

後

送

記事

984T

125

六	五		四		三		二		一	輸送回次	
	連	早月	文月	夕風	松風	曙	連	夕風	松風	太刀風	輸送艘
寸二	五〇	三八	四二	五〇	四九	五一	九五	寸五		陸軍	前送
一			五	一五						海軍	
三三	三八	三三	二五	小三	三六	三五	二	八		陸軍	後送
二五			一四	一〇				五		海軍	
二〇		五	二		二					陸軍	送
			二〇	一一						海軍	
			一							陸軍	送
										海軍	
										其他	記事
											輸送不成功
											物件三履積残
											物件五履積残

三ヶ所

報告
報告
報告

四 被害

十二月二十三日「カロベ」作戦輸送ニ於テ水無月ニ爆弾
一命中不發輕微ナル損傷アリシノミ

三 所見

今期作戦輸送ノ実績ノ示ス通輸送隊ニ協力スベ
キ航空兵ヲ警戒艦艇ノ充分ナラザル現状ニ於テ
ハ敵ノ来攻ト共ニ駆逐艦輸送可能範圍ノ縮少
ハ止ムラ得ガル處ニシテ「エー」ブリテンニ各地ノ輸送確
保ノ爲ニ公道路網ノ完成ニ依ル陸上交通ノ開拓ガ
緊要ノ事項ナリ
又敵情ニ應ジ機宜所望ノ地ニ揚塔點ヲ變更シ
得ル様速ニ沿岸ノ写真測量ヲ免逐スル要アリ

ト認ハ

(四)

今期ノ輸送作戰中爆撃手被害少クリレハ襲撃部隊各艦ガ假稱電波探知器ノ利用ニ概テ慣熟シ被爆前蛇行運動機銃射撃等機先ヲ制シ得ルニ到レルニ由ル處大ナリト認ハ

(三)

擬装装置ノ假稱反射体ノ効果ハ未カ確認スルニ到ラザルニ爆撃手直前投入シテ敵電測爆撃ヲ混乱セシムル効果ルル様ニモ認ノラレ高研究中ナリ今期ノ輸送作戰中輸送隊ハ殆ド毎回敵機ノ觸接攻撃ヲ受ケ如何ニ揚塔時間ヲ変更スルモ効少クリレ為特號ヲ盗竊サレカラサルヤノ擬惑ヲスラ抱クニ到レルニ至十月ノ輸送隊ノ行動ヲ打電セル敵信傍受ニ依リゴランブルト岬附近ニ敵ノ隠蔽

見張アルコト判明セルヲ以テ三十一日ノ輸送隊ハ同岬
ノ視界外ヲ進出セシメタリ隱象見張ノ使用ハ敵ノ
常用ニ且得意トスル處ナルヲ以テ之ガ侵入防止種
ニ掃蕩ニハ持テ留意ノ要アリト認ム

終